

あなたも30秒で情報通! 活用法いろいろ コミュニケーションペーパー



お年玉年賀ハガキの 賞品内容は?

2021年11月1日から販売される年賀はがきの販売枚数は電子メールやSNSなどの普及で年々減少しています。

2021年用年賀はがきの販売枚数は19億4198万枚、2022年は18億2536万枚になります。

受け取った年賀ハガキの楽しみのひとつは2022年1月16日に当選発表です。2022年の賞品内容は以下の表のとおりです。現在は「現金30万円または選べる電子マネーギフト「EJOICA(イージョイカ)セレクトギフト」31万円分または2021年発行特殊切手集&現金20万円」とは昔と比べるとビックリです。

例えば、昭和25年(1950年)第1回の賞品は1等がミシンです。当時のミシンは高額賞品で衣食住が厳しい世の中で自分の洋服をつくれるミシンは庶民の夢だったのです。その後、昭和31年「電気洗濯機」、昭和36年「ステレオ」、昭和40年「ポータブルテレビ」、昭和49年「ラジカセ」、昭和59年「電子レンジ」、平成になると「海外旅行」や「最新式テレビ」が登場します。平成25年(2013年)の賞品は「選べる海外旅行・国内旅行」「ノートパソコン+デジタルカメラ+プリンタ」「現金」などなど賞品内容が変わってきました。

●お年玉ハガキ賞品内容

等級	賞品内容	当選本数
1等	現金 30 万円 または 選べる電子マネーギフト 「EJOICA(イージョイカ) セレクトギフト」31 万円分 または 2021年発行特殊切手集 & 現金20万円	1,833本
2等	ふるさと小包など	183,336本
3等	お年玉切手シート63円切手と 84円切手のシール式切手シート	55,000,800本

さて、お年玉付き年賀ハガキの当選確率はどのくらいなのでしょう?

1等 100万本に1本

2等 1万本に1本

3等 100本に3本

1等の当選はかなり厳しいですが、3等は100本に3本ですから当たりそうですね。

当選発表日は2022年1月16日、楽しみを待ちましょう。

あなたもが30秒で情報通！活用法いろいろ コミュニケーションパーパー



適正飲酒で 健康とコロナ感染防止

コロナの感染者が減ってきて飲食店の時短が解除されるようになりそうです。ヤットお酒を飲めることになりそうです。飲酒、飲酒なんてことをしたら体を壊すかもしれないし、コロナも第6波になってまたまた時短にもどるかもしれませんね。そこで、飲みすぎないようなお酒の飲み方をしてみましょう。「公益社団法人アルコール健康医学協会」が「適正飲酒の10か条」をホームページに掲載しています。

「適正飲酒」をわかりやすく簡潔に整理したものが「適正飲酒の10か条」です。

1. 談笑し 楽しく飲むのが基本です
2. 食べながら 適量範囲でゆっくりと
3. 強い酒 薄めて飲むのがオススメです
4. つくろうよ 週に二日は休肝日
5. やめようよ きりなく長い飲み続け
6. 許さない 他人(ひと)への無理強い・イッキ飲み
7. アルコール 薬と一緒に危険です
8. 飲まないで 妊娠中と授乳期は
9. 飲酒後の運動・入浴 要注意
10. 肝臓など 定期検査を忘れずに

お酒を飲むときは、この「適正飲酒の10か条」を実践しましょう。適量を適正な方法で飲めばお酒も健康にも良いです。「適正飲酒」を実践することにより、美味しいお酒を楽しく飲み、健康で幸せな生活を過ごしましょう。

「適正飲酒の10か条」の詳しい内容のHPは <http://www.arukenkyo.or.jp/health/proper/index.html>です。アクセスしてください。

公益社団法人アルコール健康医学協会

適正飲酒の10か条

- 1 談笑し 楽しく飲むのが基本です
- 2 食べながら 適量範囲でゆっくりと
- 3 強い酒 薄めて飲むのがオススメです
- 4 つくろうよ 週に二日は休肝日
- 5 やめようよ きりなく長い飲み続け
- 6 許さない 他人への無理強い・イッキ飲み
- 7 アルコール 薬と一緒に危険です
- 8 飲まないで 妊娠中と授乳期は
- 9 飲酒後の運動・入浴 要注意
- 10 肝臓など 定期検査を忘れずに

しない させない 許さない 20歳未満飲酒・飲酒運転

株式会社24時間通信

〒003-0826 札幌市白石区菊水元町6条3丁目6-46
TEL 011-871-2455 FAX 011-871-2444

21年
11月号

あなたもわずか30秒で情報通！活用法いろいろ コミュニケーションパーパー



住宅再建に必要な金額と不足額は？

●地球温暖化による大雨のリスク増

日本の年平均気温は、100年あたり1.19℃の割合で上昇しています。猛烈な雨(1時間降水量80mm以上の雨)の年間発生回数も増加しています。地球温暖化の進行に伴って、大雨や短時間に降る強い雨の頻度はさらに増加すると予測されており、台風や豪雨による風水害・土砂災害発生リスクが高まっています。

●大規模地震発生リスク

近い将来の発生の切迫性が指摘されている大規模地震には南海トラフ地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震、首都直下地震、中部圏・近畿圏直下地震があります。

関東から九州の広い範囲で強い揺れと高い津波が発生するとされる南海トラフ地震と首都直下地震は今後30年以内に発生する確率が70%と予想されています。もしも大きな災害が起こって、お住まいの住宅が被害を受けた場合、修理や建て替えにかかる費用は大きなものとなります。公的な支援金や善意による義援金だけでは住宅・生活再建には十分な金額とはいえません。

●全壊被害から住宅再建に掛かる費用

東日本大震災で全壊被害に遭った住宅の新築費用は、平均して約2,500万円でした。

それに対して公的支援として受給できるのは、善意による義援金をあわせても約400万円で、不足する金額は約2,100万円でした。今後発生が危惧されている南海トラフ巨大地震では、推定全壊住宅は約238.6万棟となり、東日本大震災の約20倍になるとされています。

住宅新築費用 約2,500万円	不足する金額 約2,100万円
	義援金 約100万円
	被災者 生活支援金 300万円

+

これだけでなく家財、引っ越し費用など住宅・生活再建には他にもお金はかかります

住宅再建に必要な金額	公助・共助で受取れる金額
------------	--------------

あなたもわずか30秒で情報通！活用法いろいろ コミュニケーションパーパー



いざというときの 備えをしていますか？

風水害・土砂災害や地震などの災害に対しては、保険や共済に加入するという事前の備えが重要です。既に加している方も補償対象・内容が十分か見直してみましよう。

火災補償に比べ、水災補償や地震補償の加入割合は、まだまだ低い状況にあります。

●持ち家世帯の保険・共済の 加入件数・割合(建物のみ) 内閣府試算

火災補償あり	2,880万件	82%
水災補償あり	2,037万件	66%
地震補償あり	1,732万件	49%

※損害保険料率算出機構資料(2015年度末における全保険会社の建物(住宅)を対象とした火災保険保有契約を集計)及び日本共済協会資料(2015年度末におけるJA共済連、JF共済連、全労済、全国生協連の建物(住宅)を対象とした共済保有契約を集計。

住宅のみのデータ抽出が困難なものを除く)をもとに内閣府試算

保険・共済に加入することで、台風や暴風雨などによって発生した洪水、高潮、土砂崩れなどの風水害、地震、津波、火山噴火による、大切な住宅や家財への被害に備えることができます。これらの保険・共済には火災保険(共済)に上乗せで付帯するタイプのものや、基本的な補償に含まれるタイプのものなどがあり、補償の対象や内容は様々です。ご自宅の災害リスクをしっかりと確認して、必要な補償を確保しましょう。

また、建物被害の程度にかかわらず、家財が大きく被害を受け再購入が必要になる場合もあることから、持ち家の場合は、建物の補償と家財の補償の双方で備えることが望ましいでしょう。

一般的な火災保険では、地震、津波、火山の噴火は補償されませんので、それらに備えるためには、「地震保険」を付帯するようにしましょう。